

在宅ケア機能を利用することでのメリットは??

- 患者の基本情報の確認が可能です。許可した施設や職種、職員間でスムーズな情報共有が可能。質が高い診療提供が可能な仕組みです。
- 訪問前に患者の直近の状態を確認し、一連の経過を時系列で把握することが可能です。現場でタブレットを利用し、患者情報・経過状況等を適時に参照可能です。写真、音声によるリアルな状況の共有が可能です。
- テンプレートを用い入力作業の軽減が可能。印刷すれば二重手間が省けます。
- 在宅医療における多職種との情報共有がスムーズにできます。
 - ⇒ フェースシートを用いて情報を共有することによって従来より質の高い医療レベルを提供することが可能です。
- 在宅における時間的拘束等の精神的負担を軽減することが可能です。
 - ①主治医、副主治医体制の構築が可能です。
 - ②チームの中にレスパイト入院主治医を登録することにより、急変時患者がレスパイト病院にスムーズに入院することが可能です。

参加をする際に準備するものは??

- 専用端末もモバイル端末もそれぞれのネットワーク回線については、個々の事業所にてご準備をお願いします。
- 月々の回線使用料は今回の整備の対象ではないため、個々の事業所にて準備を行ってください。
- モバイル端末は自施設のwifi環境下にてwifiを利用することができるモデルにて配布を予定しています。
- PCやモバイル端末は本会より貸与いたしますが、システム利用料は別途必要です。（※モバイル端末は対象施設のみ）

地域全体で患者さんを診る体制づくりの構築のために、ふくいメディカルネットへの参加をご検討ください。



ふくい医療情報連携システム運営協議会（事務局：一般社団法人 福井県医師会）

☎0776-24-0387 FAX 0776-21-6641

ホームページ <http://www.fukui.med.or.jp/fukuimedical-net/>

ふくいメディカルネット

在宅ケア機能はどのような仕組みですか??

ふくいメディカルネットの在宅ケア機能は、情報提供施設以外のネットワーク利用者が、チーム機能を用いて患者メモ登録することで、地域の関係者間で必要な情報を、共有することができる仕組みです。登録できる内容は、テキスト入力に加えて、画像やレポート等のファイルを添付することも可能な内容となっています。また、モバイル上ではタイムライン形式にてチーム内の利用者が入力した内容を一目で分かるようなビューとなっています。PCにおいてもモバイルで参照している内容と同様の内容を見ることが可能です。



現場で入力する情報をテンプレート化することで、簡単な操作で情報を入力することができます。そのほか、カメラや音声による現場情報の取得も可能な仕組みとなっており、更に訪問前にモバイル端末に訪問予定の患者様の情報をダウンロードし、訪問先での参照・入力を行うこと可能な仕組みとしています。訪問後は、入力した内容をアップロードすることで情報共有が可能です。

